

# 枕崎の海を守る会 （鹿児島県枕崎市）

## ● 活動項目

サンゴ礁の保全 他（食害生物(オニヒトデ)の除去、モニタリング 他）

## ● 組織の構成

漁業者、漁協職員（31名）（サポーター：民間企業）

## ● 地域の現状・課題

- ・鹿児島県枕崎市は、薩摩半島南西部に位置し、東シナ海に面している。
- ・かつて、枕崎沿岸はサンゴや海藻が群生していた。
- ・しかし、海水温の上昇、環境悪化、食害により、藻場やサンゴが減少し、沿岸の漁業に影響を及ぼすようになった。
- ・そうした背景の中、沿岸域の環境改善の重要性について漁業者の意識が高まり、平成22年に「枕崎の海を守る会」を結成し、サンゴ保全などの取り組みを開始している。

かつて枕崎沿岸は大量のサンゴや藻場が群生していた

「枕崎の海を守る会」結成

・温暖化による海水温の変動  
・環境汚染  
・オニヒトデの食害

・砂藻の投入  
・オニヒトデ駆除  
・海岸清掃

・磯焼け

・サンゴの白化

環境がわずかながら回復

沿岸漁業に深刻な影響を...

・藻場崩壊  
・ワカメの移植

環境が悪化する可能性がある

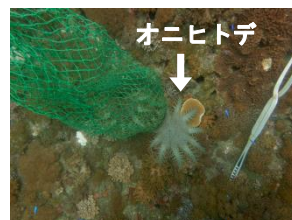
外洋に面している為効果が薄い

環境改善の重要性について漁業者の意識が高まる

継続的な保全活動

## ● 活動の内容

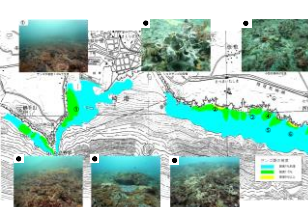
- ・サンゴの減少は、現在、①海水温上昇による白化、②オニヒトデによる食害が大きな要因になっており、その対策が求められている。
- ・そこで、漁業者でも取り組めるオニヒトデの除去を実施している。
- ・また、現存するサンゴの白化等による被害を早期発見することも重要であることから、モニタリングの強化を、民間企業の協力・指導のもと図っている。



ハサミ等を用いた潜水採捕



オニヒトデの肥料化



マンタ法による分布調査



コドラートや測線法による詳細調査

## ● 活動の効果

- ・平成22年から実施している除去活動により、オニヒトデの個体数が年々減少しており、大量発生を抑止につながっている。
- ・上記の効果によって、大規模ではないが、サンゴの新規加入やシコロサンゴの部分回復が認められるようになっており、サンゴの被度が僅かに回復してきている。

